

「胸部外科」特集原稿募集

2022年4月号（75巻4号）において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

テーマ

肺移植の現況と課題そして展望

2010年の臓器移植法改正以来、脳死下での臓器提供数は増加しているが、ここ3～4年はやや頭打ちの傾向がみられる。それに伴って脳死肺移植年間実施件数も、2019年には年間79件まで増加したが、最近はおおむね年間60件弱で推移している状況にある。とはいえ、1998年の生体肺移植と2000年の脳死肺移植開始以来20年以上を経過した今日まで、生体肺移植は250件以上、脳死肺移植は600件以上の実施を数えるにいたっている。また、当初4施設であった肺移植実施施設も9施設に拡大し、2020年に1施設を加えて10施設での実施体制となった。どちらかという特殊な医療の域を出なかった肺移植が、ある程度わが国でも数でものをいえるほどに一般化してきた感がある。

本誌ではこれまでに3回、肺移植を特集テーマとして取り上げてきた。前回の特集から5年を経過して各施設の経験もずいぶん積み上がってきたと思われ、今回その現状と課題について最新の情報を報告いただくことにした。ドナー管理や提供臓器、レシピエントの疾患、術式、術後急性期管理、移植後の長期管理、免疫抑制、再移植、研究レベルでの試みなど、多岐にわたるこれまでの経験や課題などについて、奮ってご報告いただければ幸いである。

『胸部外科』編集主幹 近藤 丘、小野 稔

*

*

*

- **内 容**：臨床と研究、臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル、著者名、施設名、ミニ抄録を400字詰原稿用紙1枚に収めて**2021年8月31日（火）**までにお送りください（**E-mailでも構いません**）。
編集委員会で採否を決めさせていただきます。2021年9月末日までにご連絡いたします。
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400字詰原稿用紙12枚以内（英文summaryを含む）、図表6枚以内
- **原稿締切日**：2021年11月30日（火）
- **掲 載 号**：『胸部外科』75巻4号（2022年4月号）
宛先：☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6（株）南江堂『胸部外科』編集室
TEL：03-3811-7619 / FAX：03-3811-8660 / E-mail：pub-jt@nankodo.co.jp